

テーマ：新しい時代の“SHIN化”するレシピ～あいちから～

※各枠の大きさは変更可。配置の変更不可。



タイトル <u>和風醤油白パスタ</u>	ふりがな すん そい ソース
チーム名 Sun soy source	
材料（2人分）	作り方
<ul style="list-style-type: none"> ・玉ねぎ ... 100g ・しらす ... 60g ・パスタ ... 200g ・本だし ... 2g ・牛乳 ... 200cc ・生クリーム ... 100cc ・脱色たまり ... 20cc ・脱色たまり(1時間)→かたくりムース ... 20g ヘットピニグへ ・大葉 ... 5g ・法小生寺ねぎ ... 10g ・たまごしじみにつけたクリームチーズ ... 15g ・ランニンエッグ ... 黄身1つ 	<p>①オリーブオイルをひき、玉ねぎを炒める。 ※焦がさない。</p> <p>②しらすを火から炒める。</p> <p>③牛乳200ccと生クリーム100ccを混ぜて煮詰める。</p> <p>④本だしをひかる。味を確認しながら脱色たまりを入れて、火を弱めて、クームチーズを加える。</p> <p>⑤パスタをゆでて、④のソースにからめる。</p> <p>⑥大葉は細切りにし、法小生寺ねぎは白髪ネギを作る。</p> <p>⑦パスタを盛り付け、白髪ネギ、大葉をのせ、塗みに卵黄をのせる。近くで、クリームチーズもヘットピニグして完成。</p>
2人分の値段 800円	
※材料費は2人分で1000円以内です。	

学校名 <u>愛知県立岩津高等学校</u>	コラボの理由（きっかけ、経緯、想い等） テーマが“SHIN化”だと聞き、昔から今もなお使われ続けている「たまりしょうゆ」に注目しました。ヤマミ醤油造工舎を調べたところ、手間暇を惜まない努力と工夫により年間1000アイテムを超える調味料を開発しており、「脱色たまり」という、うまい香りはそのまま、見た目を邪魔しない上品な色のたまりで、そんな色と脱色する技術は、時代の需要をうなげたものだと思いました。また、たまりは、醸造期間が長く、少しかわいいながら国内生産量のわずか2%です、アクティビティに富んだ味わいを提供し、時代を見越した開発路線で攻め続けている、貴重なたまり会社が愛知県にあり、昔ながらのたまりですが実は進化し続けている「たまりしょうゆ」。そんなたまりがぜひ全国に、世界に広まってほしいと思ったからです。
参加者名（3名） <u>鈴木 葉安</u>	※大会公式HP等における御名前の公表について、どちらかにチェックしてください。不可の場合、御名前の公表はいたしません。
<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	
<u>谷本 夏菜</u>	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
<u>松井 未来</u>	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
いいともあいちネットワーク会員名（企業名・生産者名等） 株式会社 ヤマミ醤油 (開発部) 藤木 智子	アピールポイント（例：どの部分が“SHIN化”したか。地産地消を意識してどのような食材を使用したか。等） 日本は昔、焼く、煮るといった料理が全て主食は肉魚でした。ですが、時代、世界人々がSHIN化すると共に、食もSHIN化してきました。昔では考ふれなかた和え、発酵させたチーズパスタ、それらを使用し、さらに、愛知県の特産品、企業のSHIN化したたまりを用いて新しいパスタを開発することができました。SHIN化したたまりとは、色や香りはそのまま本物の色を邪魔しないすぐれた調味料です。そんな脱色たまりを最大限に生かすために、あえて、白色の食材を使用し、ベースを生クリームと牛乳でさらによくしました。普通のたまりでは、茶色くなってしまうこの料理ですが、脱色たまりを使用することで、色を崩さず、和風の味わい白パスタに仕上げる事が可能になりました。そこには愛知の特産品である、しらす、大葉、法小生寺ねぎ、ランニンエッグを使用し、地産地消でもありました。大葉、ねぎ、卵黄はトッピングに使っているので、パスタとからめて食べていたらよく、一層おいしくなりました。このたまりには、グルタミン酸ナトリウムが豊富に含まれており、肉魚にはインソ酸が含まれています。だから普通の醤油より高い種類が得られるので、愛知のうまいをたっぷり使用しました。パスタの隣には、たまりに1時間つけたクリムチーズを添え、日本と海外の掛け合せを楽しめています。一時代前は、食べて樂しむ料理が多かったと思います。最近では、味はせん、臭ね、写真映えといった料理と一緒に新しくなっていると思います。永遠は、その新しさの時代に乗り、トッピングに調味料を乗せました。そして、食べるごとに黄身が流れ出る姿は、写真映えを狙って作りました。私たちの料理を見てたまごのみなさんのイメージが深化してほしいです。この機会を通して知りたい、愛知県の素晴らしい方が知ることができ、だから、私達の方で愛知の魅力を、全国、世界へと、SHIN化してほしい、という想いを込めて作りました。